

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 2013年（平成25年）10月11日
【四半期会計期間】 第148期第2四半期
（自 2013年（平成25年）6月1日 至 2013年（平成25年）8月31日）

【会社名】 株式会社高島屋
【英訳名】 Takashimaya Company,Limited
【代表者の役職氏名】 取締役社長 鈴木 弘治
【本店の所在の場所】 大阪市中央区難波5丁目1番5号
【電話番号】 06（6631）1101
【事務連絡者氏名】 企画本部（改革推進本部）財務部長 明石 俊一
【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町2丁目12番7号
【電話番号】 03（3668）7086
【事務連絡者氏名】 企画本部（改革推進本部）財務部長 明石 俊一
【縦覧に供する場所】 株式会社高島屋日本橋店
（東京都中央区日本橋2丁目4番1号）
株式会社高島屋京都店
（京都市下京区四条通河原町西入真町52番地）
株式会社高島屋横浜店
（横浜市西区南幸1丁目6番31号）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第147期 第2四半期連結 累計期間	第148期 第2四半期連結 累計期間	第147期
会計期間	自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日	自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日	自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 2月28日
売上高 (百万円)	419,830	435,291	870,333
経常利益 (百万円)	11,740	13,492	29,866
四半期(当期)純利益 (百万円)	6,604	7,614	16,540
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	9,671	15,928	31,268
純資産額 (百万円)	315,497	349,644	335,443
総資産額 (百万円)	789,801	815,266	790,687
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	20.01	23.08	50.13
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.62	21.47	46.64
自己資本比率 (%)	39.2	42.1	41.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	16,888	19,056	44,141
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	16,216	11,711	28,470
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	18,834	381	32,931
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	58,805	74,657	63,980

回次	第147期 第2四半期連結 会計期間	第148期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2012年(平成24年) 6月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日	自 2013年(平成25年) 6月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.31	10.90

(注) 1 売上高には、「その他の営業収入」を含めて表示しております。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループに関する財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析・検討内容は、原則として四半期連結財務諸表に基づいて分析した内容であります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間(2013年(平成25年)3月1日~2013年(平成25年)8月31日)におけるわが国経済は、企業業績をはじめとして景気がゆるやかに回復してまいりました。しかしながら、欧州や新興国の経済状況は依然不安定な状態が続いており、今後も経済情勢について注視を要する状況にあります。

そのような環境のもと、当社グループは構造改革を進めるとともに営業力強化に努めました。さらに、収益力の高いグループ会社を有する強みを活かすことにより、グループの総合力を結集し、業績の改善に努めました。

その結果、連結営業収益は435,291百万円(前年同期比3.7%増)、連結営業利益は11,156百万円(前年同期比10.2%増)、連結経常利益は13,492百万円(前年同期比14.9%増)となり、連結四半期純利益は7,614百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりです。

<百貨店業>

百貨店業においては、「国内百貨店事業の変革」を掲げ、大型店の営業力強化や郊外店・地方店の収益体質向上、顧客基盤の磐石化に努めてまいりました。

当第2四半期は、株価上昇に伴う資産効果などにより特選衣料雑貨・宝飾品等の高額品を中心に売上を伸ばしました。あわせて、世田谷美術館で開催された「暮らしと美術と高島屋」展に連動した文化催事「たかしまやART WALKING」を展開し、当社のブランド価値向上に努めるとともに、集客力の強化にも取り組みました。また、本年は中元商戦ピークの6月28日に夏のクリアランスセールをスタートさせ、売上高や入店客数を順調に伸ばすことができました。

店舗別では、大型店の日本橋店が開店80周年を記念した催事を積極的に開催したこともあり増収となりました。また、横浜店は特選衣料雑貨や宝飾品が好調に推移したことに加え、全館リニューアルの一環として改装した婦人雑貨も順調で増収となりました。さらに、新宿店は増加する外国人観光客や東急東横線と東京メトロ副都心線の相互乗り入れにより増加した来街者の取り込み策が奏功し、売上高・入店客数とも前年を上回りました。一方、大阪店では激化する競合環境に対応し、一部改装を実施しましたが、わずかに減収となりました。

郊外店・地方店では、大宮店が「店舗の多機能化」による集客力向上を目指し、5月の新規テナントの導入をはじめ全館改装を実施した結果、順調に入店客数を伸ばしました。岡山店は食料品の増床・改装を実施したことにより、売上高・入店客数とも前年を上回りました。

海外では、タカシマヤ・シンガポールLTD.が春節などでの各プロモーションの好調や、婦人雑貨・食料品等の堅調に加え、円安による為替影響もあり増収増益となりました。

この結果、営業収益は385,419百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は4,391百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

<建装事業>

建装事業においては、高島屋スペースクリエイツ株式会社が、ホテル等宿泊施設や商業施設の受注が伸び増収となりました。これによりリフォーム事業拡大のための経費は増加したものの、増益となりました。

この結果、営業収益は9,054百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は389百万円(前年同期比49.3%増)となりました。

< 不動産業 >

不動産業においては、東神開発株式会社が、玉川ショッピングセンターの増床や、収益物件の取得等により、増収増益となりました。また、トーション ディベロップメント シンガポールPTE.,LTD.では、専門店の契約更改による家賃収入増に加え、円安による為替影響もあり、増収増益となりました。

この結果、営業収益は17,791百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は4,062百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

< 金融業 >

金融業においては、高島屋クレジット株式会社が、堅調な個人消費によりショッピング取扱高が伸びたことに加え、カード年会費収入も増加したため営業収益は増収となりました。これにより債権管理強化のための経費や取扱高比例経費などは増加したものの、増益となりました。

この結果、営業収益は5,909百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,951百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

< その他 >

クロスメディア事業においては、ネットメディア・カタログメディア・テレビメディアとも堅調に推移し増収となりました。

この結果、クロスメディア事業等その他全体での営業収益は17,117百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は388百万円(前年同期比143.0%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、815,266百万円と前連結会計年度末に比べ24,578百万円増加しました。これは現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。負債については、465,621百万円と前連結会計年度末に比べ10,377百万円増加しました。主な要因は支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。純資産については、349,644百万円と前連結会計年度末に比べ14,200百万円増加しました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

営業活動キャッシュ・フローは、19,056百万円の収入となり、前年同期に比べ2,167百万円の収入の増加となりました。主な要因は、仕入債務の増減額が2,843百万円増加したことなどによるものです。

投資活動キャッシュ・フローは、11,711百万円の支出となり、前年同期に比べ4,504百万円の支出の減少となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出が4,197百万円減少したことなどによるものです。

財務活動キャッシュ・フローは、381百万円の支出となり、前年同期に比べ18,452百万円の支出の減少となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が20,784百万円減少したことをはじめ、長期借入れによる収入が2,300百万円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10,677百万円増加し、74,657百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	600,000,000
計	600,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2013年(平成25年) 8月31日)	提出日現在 発行数(株) (2013年(平成25年) 10月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	330,827,625	330,827,625	東京証券取引所 (市場第1部)	株主としての権利内容 に制限のない、標準と なる株式。単元株式数 は1,000株。
計	330,827,625	330,827,625	-	-

(注) 提出日現在の発行数には、2013年(平成25年)10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2013年(平成25年) 6月1日~ 2013年(平成25年) 8月31日	-	330,827	-	56,025	-	26,634

(6)【大株主の状況】

2013年(平成25年)8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する 所有株式数の 割合(%)
エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	大阪市北区角田町8番7号	33,084	10.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	32,815	9.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	17,892	5.41
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号 日本生命証券管理部内	12,852	3.89
高島屋共栄会	大阪市中央区難波5丁目1番5号	7,174	2.17
相鉄ホールディングス株式会社	横浜市西区北幸1丁目3番23号	4,805	1.45
高島屋社員持株会	大阪市中央区難波5丁目1番5号	4,684	1.42
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY(ステートストリートバンクウェストクライアントトリーティー)(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1776 HERITAGE DRIVE, NORTH QUINCY, MA02171, U.S.A(東京都中央区月島4丁目16番13号)	3,171	0.96
東海旅客鉄道株式会社	名古屋市中村区名駅1丁目1番4号	2,777	0.84
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川2丁目27番2号	2,671	0.81
計	-	121,927	36.86

(注) 高島屋共栄会は当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

2013年(平成25年)8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 939,000	-	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 328,003,000	328,003	同上
単元未満株式	普通株式 1,885,625	-	同上
発行済株式総数	330,827,625	-	-
総株主の議決権	-	328,003	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式514株が含まれております。

【自己株式等】

2013年(平成25年)8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株高島屋	大阪市中央区難波 5丁目1番5号	939,000	0	939,000	0.28
計	-	939,000	0	939,000	0.28

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2013年（平成25年）6月1日から2013年（平成25年）8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2013年（平成25年）3月1日から2013年（平成25年）8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,495	80,948
受取手形及び売掛金	98,978	105,831
有価証券	-	2,999
商品及び製品	37,270	36,873
仕掛品	443	646
原材料及び貯蔵品	521	515
その他	30,131	30,210
貸倒引当金	577	512
流動資産合計	236,263	257,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	154,003	154,476
土地	213,057	213,732
その他(純額)	11,695	12,326
有形固定資産合計	378,755	380,535
無形固定資産		
のれん	² 745	² 688
その他	28,233	28,164
無形固定資産合計	28,979	28,852
投資その他の資産		
投資有価証券	96,100	99,998
差入保証金	41,288	40,886
その他	12,094	10,117
貸倒引当金	2,794	2,637
投資その他の資産合計	146,688	148,364
固定資産合計	554,423	557,753
資産合計	790,687	815,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,883	92,869
短期借入金	19,172	23,201
1年内償還予定の社債	-	10,000
未払法人税等	4,045	4,399
前受金	77,022	77,841
商品券	57,174	56,588
ポイント引当金	3,136	3,175
その他	46,212	50,690
流動負債合計	294,645	318,765
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	49,674	47,432
資産除去債務	1,301	1,406
退職給付引当金	43,648	43,032
役員退職慰労引当金	207	235
環境対策引当金	651	647
その他	35,116	34,101
固定負債合計	160,597	146,856
負債合計	455,243	465,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,025	56,025
資本剰余金	45,085	45,085
利益剰余金	206,440	212,404
自己株式	536	542
株主資本合計	307,014	312,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,106	15,136
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	8,537	8,537
為替換算調整勘定	1,767	6,690
その他の包括利益累計額合計	22,413	30,365
少数株主持分	6,015	6,306
純資産合計	335,443	349,644
負債純資産合計	790,687	815,266

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24 年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25 年) 8月31日)
売上高	392,697	406,419
売上原価	290,584	302,193
売上総利益	102,113	104,225
その他の営業収入	27,132	28,872
営業総利益	129,245	133,097
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	11,397	11,582
ポイント引当金繰入額	1,299	1,607
貸倒引当金繰入額	192	152
役員報酬及び給料手当	32,878	33,055
退職給付費用	3,399	2,270
不動産賃借料	18,624	19,978
その他	51,329	53,293
販売費及び一般管理費合計	119,121	121,940
営業利益	10,124	11,156
営業外収益		
受取利息	212	207
受取配当金	528	634
持分法による投資利益	957	1,125
為替差益	-	357
その他	991	698
営業外収益合計	2,690	3,022
営業外費用		
支払利息	677	547
為替差損	174	-
その他	223	139
営業外費用合計	1,074	686
経常利益	11,740	13,492

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24 年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25 年) 8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	-	210
投資有価証券売却益	-	38
その他	-	28
特別利益合計	-	277
特別損失		
固定資産除却損	1,208	2,085
投資有価証券評価損	19	-
その他	1	-
特別損失合計	1,229	2,085
税金等調整前四半期純利益	10,510	11,684
法人税、住民税及び事業税	2,720	3,559
法人税等調整額	794	148
法人税等合計	3,515	3,707
少数株主損益調整前四半期純利益	6,995	7,977
少数株主利益	391	362
四半期純利益	6,604	7,614

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24 年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25 年) 8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,995	7,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,523	2,941
繰延ヘッジ損益	12	1
為替換算調整勘定	580	2,978
持分法適用会社に対する持分相当額	585	2,033
その他の包括利益合計	2,675	7,951
四半期包括利益	9,671	15,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,280	15,565
少数株主に係る四半期包括利益	391	362

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24 年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25 年) 8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,510	11,684
減価償却費	9,340	9,158
のれん償却額	57	56
貸倒引当金の増減額(は減少)	372	222
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	16
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,595	615
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	14	28
ポイント引当金の増減額(は減少)	459	39
受取利息及び受取配当金	741	841
支払利息	677	547
持分法による投資損益(は益)	957	1,125
固定資産売却損益(は益)	-	210
固定資産除却損	763	1,385
有価証券及び投資有価証券売却損益(は益)	-	38
売上債権の増減額(は増加)	3,030	7,832
たな卸資産の増減額(は増加)	954	277
仕入債務の増減額(は減少)	1,593	4,437
その他	2,254	4,199
小計	19,560	20,912
利息及び配当金の受取額	1,522	1,888
利息の支払額	715	462
法人税等の支払額	3,478	3,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,888	19,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	4,775	577
定期預金の払戻による収入	-	186
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	7	208
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	3	64
関係会社株式の取得による支出	1,960	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	9,486	11,450
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	237
その他	0	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,216	11,711

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24 年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25 年) 8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	40
長期借入れによる収入	5,300	3,000
長期借入金の返済による支出	22,037	1,252
配当金の支払額	1,649	1,649
その他	448	520
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,834	381
現金及び現金同等物に係る換算差額	890	3,714
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	17,271	10,677
現金及び現金同等物の期首残高	76,077	63,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,805	74,657

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 偶発債務

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)8月31日)
銀行借入金に対する債務保証		
ケッペルランドワトコツ カンパニーリミテッド	1,316百万円	1,399百万円
ケッペルランドワトコスリー カンパニーリミテッド	939百万円	998百万円
従業員の住宅ローンに対する連帯保証	387百万円	333百万円
合計	2,643百万円	2,732百万円

2. のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)8月31日)
のれん	1,485百万円	1,382百万円
負ののれん	740百万円	693百万円
差引額	745百万円	688百万円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日)
現金及び預金勘定	63,509百万円	80,948百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	4,703百万円	6,290百万円
現金及び現金同等物	58,805百万円	74,657百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2012年(平成24年)3月1日 至 2012年(平成24年)8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2012年(平成24年) 5月22日 定時株主総会	普通株式	1,649	5.00	2012年(平成24年) 2月29日	2012年(平成24年) 5月23日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2012年(平成24年) 10月9日 取締役会	普通株式	1,649	5.00	2012年(平成24年) 8月31日	2012年(平成24年) 11月20日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2013年(平成25年)3月1日 至 2013年(平成25年)8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年(平成25年) 5月21日 定時株主総会	普通株式	1,649	5.00	2013年(平成25年) 2月28日	2013年(平成25年) 5月22日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年(平成25年) 10月10日 取締役会	普通株式	1,649	5.00	2013年(平成25年) 8月31日	2013年(平成25年) 11月20日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2012年(平成24年)3月1日至2012年(平成24年)8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1) 外部顧客への 営業収益	373,145	8,320	16,659	5,830	403,955	15,875	419,830		419,830
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	2,916	2,265	2,185	2,019	9,385	15,405	24,791	24,791	
計	376,061	10,585	18,844	7,850	413,341	31,280	444,621	24,791	419,830
セグメント利益	3,700	260	3,831	1,903	9,697	159	9,857	267	10,124

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額267百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2013年(平成25年)3月1日 至 2013年(平成25年)8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1) 外部顧客への 営業収益	385,419	9,054	17,791	5,909	418,174	17,117	435,291		435,291
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	3,021	2,830	2,182	2,169	10,203	15,345	25,549	25,549	
計	388,440	11,884	19,973	8,078	428,378	32,463	460,841	25,549	435,291
セグメント利益	4,391	389	4,062	1,951	10,795	388	11,183	26	11,156

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 26百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	20円01銭	23円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	6,604	7,614
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	6,604	7,614
普通株式の期中平均株式数(株)	329,899,038	329,890,729
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	18円62銭	21円47銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(株)	24,691,358	24,691,358
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第148期(2013年(平成25年)3月1日から2014年(平成26年)2月28日まで)中間配当については、2013年(平成25年)10月10日開催の取締役会において、2013年(平成25年)8月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	1,649百万円
1 株当たりの金額	5円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2013年(平成25年)11月20日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年(平成25年)10月11日

株式会社 高 島 屋
取締役会 御中

有 限 責 任 あ ず さ 監 査 法 人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 雄 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩 瀬 弘 典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社高島屋の2013年(平成25年)3月1日から2014年(平成26年)2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2013年(平成25年)6月1日から2013年(平成25年)8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2013年(平成25年)3月1日から2013年(平成25年)8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社高島屋及び連結子会社の2013年(平成25年)8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。